

INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



平成 15～19 年度 文部科学省リーディングプロジェクト 「細胞・生体機能シミュレーションプロジェクト」

京都大学拠点 国際シンポジウム

Kyoto University International Symposium on
“Leading Project for Biosimulation”

～数理時空間に生体活動を実現する～

日時：2004年2月27日（金）、28日（土）

シンポジウム会場：

京都大学時計台百周年記念館 1F 大ホール
（京都市左京区吉田本町）

参加費：無料

プログラム

February 27 (Friday)

～ Opening Speech ～

Symposium Organizer: Tetsuya Matsuda
(Kyoto University, Japan.)

～ Invited Lecture 1 ～

Chairman: Tetsuya Matsuda (Kyoto University, Japan.)

Denis Noble (Oxford University, UK) : “Towards the virtual human: supercomputer simulations of organs of the body”

Peter J Hunter (University of Auckland, NZ) : “Cardiac Pump Mechanisms”

～ Kyoto University ～

Chairman: Prof. Hidetoshi Kotera (Kyoto University, Japan.)

Akira Amano (Kyoto University, Japan) :
“Contribution of Information Technology in Biological Simulation Research”

Hiroyuki Kawano (Kyoto University, Japan) :
“Parameter discovery in time-series database”

Koji Koyamada (Kyoto University, Japan) :
“Visualization in biomedical computing”

Nobuaki Sarai (Kyoto University, Japan) :
“equation management for biological simulation”

Takao Shimayoshi (ASTEM, Japan) : “DynaBioS: System Architecture of Biological Simulation Platform”

Chae Hun Leem (University of Ulsan, Korea and Kyoto University, Japan) : “The cytosolic hydraulic conductivity determined by model adjustment to experimental data”

Eun Bo Shim (Kangwon National University, Korea and Kyoto University, Japan) : “Systemic circulation model combined with the cardiac myocyte model”

～ Invited Lecture 2 ～

Chairman: Prof. Vitoon Leelamanit (Prince of Songkla University, Thailand)

Andrew D. McCulloch (University of California, USA) : “Integrative Computational Models of Cardiac Electromechanical Interactions”

Sehamat S. Demir (University of Tennessee,

USA) : “System Architecture of the dynamic biosimulator”

David C. Gadsby (Rockefeller University, USA) : “Mechanistic implications of cation channel-like properties of the Na/K pump”

February 28 (Saturday)

~ Kyoto University ~

Chairman: Yutaka Seino (Kyoto University, Japan.)

Satoshi Matsuoka (Kyoto University, Japan) : “Simulation of Cardiac Excitation, Contraction, Energy metabolism Coupling”

Fumiyoshi Yamashita (Kyoto University, Japan) : “In silico pharmacokinetics for accelerating drug discovery and development”

~ Invited Lecture3 ~

Chairman: Prof. Fumihiko Kajiya (Okayama University Jp.)

Bernard Korzeniewski (Jagiellonian University, Poland) : “Theoretical studies on the regulation of oxidative phosphorylation in different muscles and various experimental conditions”

Yasunobu Okada (National Institute for Physiological Sciences, Japan) : “Cell Volume Regulation Mechanisms”

William R. Pulleyblank (IBM Deep Computing Institute, USA) :

~ Closing Remarks ~

Symposium Chairman: Akinori Noma (Kyoto University, Japan.)





平成16年度助成対象研究募集のお知らせ

全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会（以下全かま連）では、「かまぼこ製品（水産練製品）の効用」に関する研究助成の募集を次の通り行ないます。

◆対象研究分野

かまぼこ製品（水産練製品）の栄養特性、健康増進、疾病予防への有用性（疫学、臨床栄養学など）に関する研究

※製品にあるとされる栄養素・機能成分を用いて行なう研究は対象と致しません。

◆応募申請者の資格・条件

大学、短大あるいは研究機関に所属している研究者（グループも可）

◆研究成果の報告

(1) 研究成果は助成期間終了後1ヶ月以内に、報告書にて全かま連に提出していただきます。（報告書の書式等詳細は助成決定後、該当者に連絡）同論文は、全かま連の年次報告書等において公表します。また、全かま連の要請により、全かま連主催の研究発表会（2005年6月予定）や講演会等で助成研究発表を行なっていただきます。

(2) 研究成果を発表する場合には、本会の助成を受けたことを付記していただきます。

◆助成金額・採用件数

助成金は1件につき、50万円以上上限150万円（年間）とし、今期は5件程度の採用を予定しています。

◆平成15年度採用研究題目

- 蒲鉾咀嚼時の血圧、心拍量および脳血流量の変化
- かまぼこ製品摂食による脳卒中易発症高血圧ラットの血圧ならびに脳卒中発症への影響

- かまぼこの物性と消化性との関係に関する研究

- かまぼこ製品酵素消化産物の生体調整機能に関する研究 特に抗酸化性ならびに血圧降下作用を中心として

- 実験動物を用いたかまぼこ製品の生活習慣病に対する作用の研究

◆助成期間

2004年4月～2005年3月の1年間とします。（疫学研究等ある一定期間の観察を必要とするものは、連続して助成することもあります。この場合も一年ごとに申請していただきます。その際は、予め年次計画を提出していただきます。）

◆応募受付期限

2004年2月23日（月）（必着）

採否結果は申請者へ直接通知いたします。（2004年3月下旬頃を予定）尚、選考内容、選考基準に関してのお問い合わせ及び提出された申請書類の返却には応じられませんので、予めご了承ください。

◆応募方法

所定の研究助成申請書（事務局にて郵送または全かま連ホームページ（<http://www.zenkama.com>）にフォーマットエクセルデータ掲載）に必要事項をご記入の上、事務局までご送付下さい。

※郵送のみの受付となります。

◆応募申請書の請求及び提出先

〒162-8528 新宿区弁天町23-6

早稲田NAビル（株）協同宣伝内

全かま連 研究助成事務局 担当：赤星・長岡

TEL：03-5285-3116 FAX：03-5287-5034

E-mail：kamaboko@kyosen.co.jp



国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部 第三研究室長（任期付研究員）の公募について

1 職名および人数

神経研究所疾病研究第六部第三研究室長 1名
(厚生労働技官, 任期付研究員)

2 職務内容

国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部第三研究室長として, 各種精神神経疾患の原因解明ならびに治療法の開発を行う。なお, 本室長はモデル動物開発部動物生産室長を併任し, 霊長類の飼育管理ならびに霊長類を用いた研究の推進に従事する予定である。

3 応募資格

高次脳機能を主たる研究対象とし, 霊長類モデルの開発に関する十分な知識と技術を有する者。また, 当該研究領域で博士号もしくは同等以上の研究歴を有すること。

4 任期

採用日から5年間

5 採用予定年月日

平成16年5月1日

6 提出書類

- (1) 履歴書 (写真貼付)
- (2) 業績目録 (原著論文, 総説, 著書, その他にまとめて下さい。また, 学会発表のリストに関しては, 国内学会としては特別講演及びシンポジ

ウムやワークショップなどの招待講演のリストを, 国際学会としては, シンポジウムなどの招待講演と一般講演に分け, それぞれを明記して下さい。)

(3) 主要論文3編の別刷り5部ずつ

(4) 従来の研究内容のまとめと将来への抱負 (2000字以内)

(5) 総長宛の推薦状 (機関の長または直属の上司等)

7 提出締切日

平成16年2月27日 (金)

8 書類送付先

〒187-8551

東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経センター運営部庶務第一課人事係

TEL: 042-341-2711

9 問い合わせ先

国立精神・神経センター神経研究所

疾病研究第六部 山村 隆

TEL: 042-346-1723

FAX: 042-346-1753

e-mail: yamamura@ncnp.go.jp

国立精神・神経センターホームページ

<http://www.ncnp.go.jp/>